

課題レポートの提出例

小学6年生

ステップ1: 「織姫星や彦星までの距離の測り方—天文学入門編—」レポート

- (1) ガリレオ・ガリレイが世界初の天体望遠鏡で観察したものの中で、自分で観察してみたいと思うものは何でしょうか。理由も書いて下さい。

月の凹凸
自分の目でカメラを通して、かげのついているようすを調べてみたいから

- (2) 凸レンズにはいくつかの使い方があります。虫眼鏡として使うときとカメラや人間の目の場合との違いを説明しましょう。

虫眼鏡は拡大して見える。
カメラ等は、さかさまのけしみが見える

- (3) 織姫星や彦星までの距離の測り方を説明しましょう。

恒星・太陽・地球を直角三角形でむすび、年周視差を観測する。星までのまよりは星によって大きさがうたわれ、遠くの星はほとんど動かずに、近くの星だけが動いて見える。いちばん近い星でも1度のまよよりも小さな角度しか動かない。そのため天体望遠鏡と観測技術が進歩した19世紀に観測できた。

- (4) 太陽、月、織姫星について、みかけの大きさの順番に書いてください。次に、本当の大きさの順番に書いてください。

見かけ 太陽・月 → おひげ星
実物 太陽 → 月 → おひげ星